

平成31年度 渡島総合振興局東部森林室立木販売重点目標

渡島総合振興局東部 森林室

1 地域材を活用した地域の取組みの促進 (①)

平成30年取得した森林認証に基づく道有林材の安定供給により、地域材のブランド化を図る。また、協定に基づく道有林材の安定供給により、地域の素材生産を担う林業事業体の育成や道産木材の需要拡大を図っていく。

- 1 森林認証に基づくCoC限定一般競争入札の推進
- 2 協定締結中の長期安定供給販売及び協定販売の着実な実施

2 木質バイオマス燃料材の安定供給②

本州向けの木質バイオマス燃料材供給の動きとともに近隣の木質バイオマス需要も見つつ、今年度も実施する被害木整理によって発生した低質材の供給を検討する。また、道路かぶり木の提案型販売も引き続き実施する。

- 1 今年度被害木整理発生材の集積販売の検討
- 2 これまでの被害木整理発生材のオープンカウンター方式での販売の検討
- 3 林道や施業道沿いのかぶり木等を事業者の提案に応じて販売

3 販売目標量

- (1) 総販売量
40,000 m³
- (2) 「CoC」限定入札 (森林認証取得地域の場合)
7,000 m³
- (3) 協定販売
2,500 m³ (うち新規 m³)

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
2,500m ³	m ³	m ³	m ³

- (4) 長期安定供給販売
9,800 m³ (うち新規 m³)
- (5) オープンカウンター販売
2 件